

団体名	特定非営利活動法人 フリースクール リフレルーム
エリア	成田市(事務所は佐倉市)
事業・活動名	学校に通えていない子どもたちの居場所づくりと社会的自立を目指す活動
事業内容	不登校児童生徒の居場所と学習機会の確保
助成金の使途	生徒用パソコン・大型 TV・プリンターの購入
訪問レポート	<p>・2024年10月1日にプレオープン。週2日。中学生を対象にコミュニティーセンターで開催。</p> <p>・「退職校長会」の元校長先生たちが集まり、何らかの事情で学校に通えていない生徒の居場所を作りたいと始めました。</p> <p>・フリースクールの全国の月謝の平均額が3万円を超える中、「我が子が学校に行けなくて苦しい思いをしている保護者を、経済的にまで苦しめたくない」と、月5000円(週5日)で設定。この値段設定は、変えたくない、という強い想いがあるそうです。週に1度だけ通う場合は月1000円。材料費・部屋代程度。</p> <p>・企業に寄付を募ったり、近隣の大学生ボランティアの力を借りたりと、地域の方たちの協力を得ながら運営されています。</p> <p>・メインの先生は元校長先生たちで、大学生ボランティアが13名。今どきのアイドルや音楽、ゲームなどの若者同士の話を大学生たちが補ってくれています。</p> <p>・2025年2月4日から、成田駅そばの村岡ビルへ。大きな部屋ひとつ、小部屋が2つ。毎回予約して荷物も持ち運ぶコミュニティーセンターとは違い、拠点ができた。</p> <p>・現在、成田市・印西市・八千代市の7校ほどから合計12名の児童が通室している。訪問した日は6名。</p> <p>・前半は自習。わからないところは先生に聞きながら。後半は、みんなでカードゲームを和気あいあいとしていました。月に一度調理実習を行い、軽スポーツや書道教室・着付け教室、ロボットプログラミングなども行う。在籍校長が出席として扱い、保険も適用されている。学校の定期テストも受けることができ、学校の教材を使い美術や技術家庭科の作品作りを行い評価してくれる学校もある。</p> <p>・まだオープンして数ヶ月だが、問い合わせや見学も増え、今後は小学生の受け入れをどうするか検討している。</p> <p>・お話を伺った寒川理事長は、元々中学校の教師・校長で、退職前の2年間、教室に行けない生徒が多かった。現場からみて、「あの生徒、困っているな」というのはわかるものの、一人一人にしっかりと向き合うには、時間的にも人的にも厳しいものがあつた。コロナ禍の影響もあり、家にひきこもる生徒も激増していた。そんな生徒たちのために、校内に安心して過ごせる場所を開設したところ、居場所として自分のペースで活用する生徒が増えてきたことをみてきた。</p> <p>・退職後は、そんな居場所を作り、現役時代は忙しくてできなくもどかしい思いをしたが「話をきいて、寄り添って、励まして、ほめて、認めて…自信をつけてあげたい」とおっしゃっていました。</p> <p>・「ここに来るのは、ディズニーランドに行くときみたいにわくわくした気持ちで来るんじゃないかと、みんなどこか「みんなは学校に行っているけど、自分はここにしか来れないんだ…」という劣等感を抱えて来ます。でも、ここに来られただけですごいわ、って伝えたい」とおっしゃっていたのが印象的でした。</p> <p>・学校へまた通えるようになることがすべてのゴールではなくて、高校という新しいスタートを目指そう、と一緒に伴走されています。教室内は、学校とはまた違った、家族のような温かい空気が流れていました。</p> <p>・助成金で購入されたTVは、プログラミングの特別授業などで使用。休み時間には、生徒さんの大好きなミュージシャンのライブ映像やYouTubeを観たりして、リフレッシュにも活用。パソコンは生徒が自由に使えるようにして、大変役に立っていると感謝の気持ちをいただきました。今後、プリンターを購入予定です。</p>
ホームページ	https://nporefre.wixsite.com/home

